

ブロードバンド時代のリレー ションシップビジネス - 淋しい日本人 -

パワーランチセッションですので昼
を取りながらどうぞ！

2001.10.4

ドコモ・システムズ株式会社

大野 邦夫

デジタルドキュメント技術専門委員会

- 「規格の社会学」の観点から電子化文書の規格を検討
- 昨年度は、「ビジネスモデルからサービスモデルへ」というテーマで、WEBを用いたビジネス・サービスの問題を提起
- 本年度は「ブロードバンド時代のリレーションシップビジネス」というタイトルで現状のコンテンツビジネスの問題を掘り下げたい

ブロードバンド(広帯域)技術の 進展

- インターネット: ADSL
- 携帯: IMT2000(FOMA)
 - 文字から図形・画像へ
 - 図形・画像から映像・アニメへ
 - 単チャンネルから多チャンネルへ
- 背景
 - 利用者端末におけるCPUの高速化、メモリの低価格化技術が加速

インターネット環境における広帯域化のインパクト

- WEBサイトの変化
 - ビジネス面: WEBサービス
 - 技術面: セマンティックWEB
- ヒューマンインタフェースの向上
 - マルチメディア化
 - マルチモーダル化
- 放送との融合
 - BML, BXML規格で放送コンテンツはXML化

モバイル環境における広帯域化 のインパクト

- ヒューマンインタフェースの向上
 - 表示時間の短縮
 - マルチチャンネル化
 - 映像の活用
- インターネット環境との連携(シンクロナイズ)
 - cHTML, XHTML(WML2.0), Java/XMLによりコンテンツ言語はWEBと一体化
 - 個人の情報環境が、何時でも何処でも誰とでも常時ネットワークで接続される
 - 個人の仕事、生活環境が大きく変わる

問題も顕在化しつつある：淋しい日本人

- 出会いサイト・手錠殺人事件
 - 1960年代の米国と類似
 - 桐島洋子「淋しいアメリカ人」
- 高度管理社会の到来
 - 個人の居場所はトレース可能である
 - Eメールは読まれているかもしれない



孤独な群集

- 個人が脆弱化

- D・リースマン「孤独な群衆」
 - 経済の離陸に伴い、社会的性格が変化する
 - 伝統指向→内部指向→他人指向
- 欧米に見られた「内部指向」的な性格（「プロテスタンティズムに基づく強い個人」）
- 弱体化した個人が形成する他人指向社会への移行



リレーションシップの構築

- 自立、分散、協調の時代
- 社会への連携のための個人間のリレーションシップが要請されている
- 個を確立するためのアンチ・リレーションシップも必要か(孤独に耐える)
- ブロードバンドコンテンツの役割は何か？

- 人が動いて初めてコンテンツになる
 - セコム(株)
目崎 裕史 氏
- 個と個のつながりから生まれるアート
 - メディア・アーティスト
中村 理恵子 氏 安斎 利洋氏
- 新メディアで増殖するIntimate Stranger(親密な見知らぬ他人)
 - 佛教大学
富田 英典 氏
- パネルディスカッション
 - ブロードバンドコンテンツからリレーションシップビジネスへ